

# 2023年度 特定非営利活動に係る事業報告書(案)

## 1 事業の成果

### ◆里山保全部門

#### \*管理場所グループ

毎月第一、第三日曜日午前中に定例活動を行い、以下のように里山とその周辺の保全に努めました。新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用や3密回避に努めて定例活動を行いました。

- ・根戸城址 子供部門が主になって城址の管理を行いました。農教室カリキュラムとして落葉の堆肥化。落下した枯れ枝を拾い集積。集積した枝を結束し市の回収へ出しました。一部の枝を薪としてそば祭りや餅つき大会の際に活用しました。遊具の管理、倒木の処理、竹の切り倒し枝払い等。会場内管理は落ち葉の掃除、道具、機器の管理、屋根掃除、薪置場整理、日暮家生垣剪定等。
- ・ミカン山 カイガラムシの防除。剪定。除草。堆肥作り。施肥。全体の除草。防鳥ネット取付と取り外し。倒木処理。栗拾い。収穫したミカンはおみやげ、販売等で活用しました。
- ・ハス田 畦と水中の除草。施肥。切り花募金。農教室カリキュラムとして枯れ茎の刈り取り除去しました。
- ・田んぼ 手取り雑草除去。ロータリー掛け。畦の除草。水の管理。ポンプの管理。
- ・その他 第2駐車場の草刈り・整備。トンネル下の管理。新たな管理地となったミカン山圃場の埋設物撤去、水神様周辺の下草刈り、めばえの里馬糞回収、浅野第2圃場での小麦施肥、船戸・花和下圃場での菜の花施肥、宮前田圃ビニールハウス修理等。

#### \*個別活動グループ

##### 1. 里山農教室部会

- ・おおむね順調に推移しました。ソバ祭り・餅つき大会は会員のみでの参加としました。
- ・気候変動(大雨、猛暑、日照り)の影響が大きく、作物の生育にかなり影響が出たと感じました。排水対策・日照り対策が少し課題かと思いました。
- ・日直リーダー制・3年次生以上(スタッフ)の作物担当制がうまく機能しました。チームにより参加者数に偏りがあり当日作業の割当人員選出に苦労していたことが少し課題かと思いました。ユートイリティチームがフルに機能しました。
- ・冬越しのタマネギ・ニンニクの栽培も作物担当制がうまく機能し、定着してきました。
- ・定時までにはほとんどの作業を終えることができました。
- ・里山農教室の開講は平均月3回、年間30回でした。
- ・受講者は年度当初で大人部会119名、子ども部会29家族でした。

##### 2. 農教室特別コース

- ・2023年度は、新会員4名が入会し、13名で特別コースを運営しました。
- ・年初に作成した栽培計画書に基づき、各自の圃場で有機生態系栽培を実践し、結果を栽培報告書にまとめ定例会で報告しました。
- ・2022年より管理を任された城址下奥圃場の一部を協働圃場とし、じゃがいも、かぼちゃ、枝豆、里芋、大豆、秋とうもろこし、人参、大根、ほうれん草、こかぶ、白菜、茎ブロッコリーを有機栽培し、良品をえびすで販売しました。空豆、えんどう豆、ニンニク、玉ねぎを栽培中です。さらに、2022年より休耕地の一部を開拓して開始した「菌ちゃん畝」の栽培を継続し、枝豆、とうもろこし、ミニかぼちゃ、長なす、お

くらを栽培しました。また、2023年より浅野第五圃場の一部で、じゃがいも、里芋、大豆の栽培を開始しました。これらの栽培状況の一部を特別コースス便りとして「沼のほとり」に報告しました。

- ・新型コロナウイルスの影響で3年間中止していたバス研修会を6月に開催し、武蔵野開拓史と無肥料自然栽培/明石農園を学びました。
- ・11月のそば祭りにあわせて「里芋品評会」を開催しました。優勝：宮平さん、準優勝：松元さん、三位：沼口さんでした。
- ・協働圃場で栽培した里芋、大根、人参を用いて、芋煮会を2回（山形流と福島流）開催しました。また、皆で大豆をみそに加工しました。

### 3. ハーブ部会

- 3月11日（土） 圃場整備
- 4月8日（土） 圃場整備・定植・播種
- 5月13日（土） 苗定植
- 6月24日（土） ラベンダー収穫・ラベンダースティック作り
- 7月8日（土） 圃場管理・ラベンダースティック販売
- 8月17日（木） 染色（玉ねぎ皮）
- 9月9日（土） 圃場管理
- 10月14日（土） ローゼル収穫
- 11月11日（土） ローゼル収穫
- 12月10日（土） 圃場管理（冬支度）・カレンデュラ定植
- 1月13日（土） 化粧水・ハンドクリーム作り（調理室）
- 2月17日（土） ハーブクッキング（調理室）

毎月1回の作業日（第2土曜日 13:00～）には、10人前後のメンバーが集まり作業しました。ローゼルがたくさん収穫出来て、皆さんもジャムやハーブティー・塩漬けなどで楽しんでもらえたかなと思います。

### 4. 養蜂部会

- ・定例会は11回、チームリーダー会は9回開催し、日本ミツバチ飼育の基本技術の習得に努めました。定例会は第3土曜日（午後1時～3時）、チームリーダー会は第1土曜日（農教室終了後）です。
- ・チームリーダーとチームを中心とした運営体制により、全員参加の活動に努め、リーダーのサポート体制を進展させました。
- ・会員に対し、みつろうハンドクリームを販売しました。今年はミツバチ群の生育不良で蜂蜜の採集、販売ができませんでした。
- ・チーム構成員は 38名で、ミツバチ越冬群は2群でした。（2024年3月現在）

### 5. そば勉強会部会

- ・4月から3月まで毎月1回、開催をして延べ175名（平均15名）が参加しました。

毎回、そばを打ち担当、料理担当、会計担当、買い物・会場設営担当などに分かれて行動して、全てが終了したらテーブルを囲んで、そばの試食と料理で楽しく会食をしました。

## 6. 健康長寿部会

2022年に、野菜ソムリエの原さんを中心に立ち上げられた部会です。現在メンバーは8名。健康に良いとされる作物の栽培、レシピの考案と効能の紹介。

そして、ゆくゆくは、健康野菜のえびすでの販売を目標としています。

昨年までは、浅野圃場で、抗酸化作用のある「青パパイヤ」の栽培に挑戦していましたが、収穫までには至りませんでした。

また、大きめの圃場で雑草の管理も、思うようにはいきませんでした。

### ◆遊休農地活用部門

#### \*遊休農地対応グループ

##### 1. 船戸圃場

###### 1) ひまわり栽培（4月～8月）

- ・ひまわり栽培は2014年から始めて、今年は10年目です。
- ・播種前の4月に、馬糞堆肥をたっぷり散布し、合わせて発酵鶏糞も散布をして、ロータリ耕耘を行い播種前の準備をしました。
- ・今年はイベントを開催しないので、畝幅を70～100cmと広くして、22畝播種しました（イベント開催のときには畝幅60cm、32畝）。
- ・今年も播種後に広範囲に鳥害で種子が食されたので、再度その場所に播種をおこないました。
- ・開花までには、畝間の除草兼中耕、株の間引きと間引き株の移植などの作業をおこないました。
- ・6月2日の台風2号の通過により、手賀沼が増水をして隣接の宮前沼田んぼなどが冠水しましたが、幸い船戸圃場は灌水をまぬがれました。
- ・7月10日頃から開花がはじまり、7月18日には満開となり、道行く人が写真を撮ったり、眺めたりしていました。

###### 2) ひまわり油

- ・7月下旬から害虫の「アワダチソウグンバイ」が繁殖をし、ひまわり種子の生育が阻害されて、未熟な種子が多くなりました。
- ・種子取りは8月20・21日行い、85kgの種が採れ12月に搾油依頼をして、1月に1000cc瓶で279本のひまわり油が採れました。
- ・10年間でのひまわり油本数は、今年は上から9番目の本数でした。

###### 3) 菜の花栽培（10月～3月）

- ・菜の花栽培はひまわり栽培と同様に、2014年から始めて、今年は10年目です。
- ・10月24日に播種を行い11月1日頃から出芽をして順調に生育をしました。
- ・生育は10年間で一番良くて、全ての株が大きく元気で、満開時期に圃場に入ると菜の花に圧倒されるようでした。
- ・「花芽の摘み取り」は1回では終わらず、2回実施して、延べ84名が参加しました。

###### 4) 菜の花イベント「菜の花畑散策と頭の体操」を開催

- ・イベントは3月14日（木）～17日（日）の4日間開催しました。

- ・今年はや暖冬で菜の花の生育も早く、例年より2週間程度早く開花をしたので、イベントの時まで満開の状況が維持できるか心配でした。
- ・イベント日直前の強風で、多くの菜の花の株が倒伏しました。特にイベント散歩道の両脇の株の倒伏が多く、その修復に苦労しました。
- ・将棋倒しのように倒伏した株の花は、空に向かって伸び、倒伏した一番下の花は地面近くに、その上の株の花はその上に、と花が地面から立体的に咲き揃い、今までにない景観となりました。
- ・イベントは4日間とも天気に恵まれて計画の日程で開催できました。
- ・入場者数は大人497名、子供139名、合計636名でした。
- ・入場者から、いろいろな声を頂きました。

## 2. 花和下圃場

- ・当圃場は、道路脇（東側）の圃場（200㎡）とその西側の圃場（450㎡）の2か所で、景観作物としてヒマワリと菜の花を栽培しました。
- ・当圃場は、中性化のため、有機石灰を散布し、肥料として馬糞堆肥及び発酵鶏糞の散布を行った。

### 1) ひまわり栽培（5月～8月）

- ・東側圃場は、播種後、種子の多くが鳥害により出芽が悪く再播種、及び欠株箇所の間引き株を移植して良く成長したが、害虫「アワダチソウグンバイ」が発生し葉が黒くなり、被害が多い葉の切り取り及びガムテープでの捕獲除去を行った。種の鳥害もあって種子取りは芳しく無かった。
- 一方、西側圃場は、雨水による冠水を避けるため、高畝とし播種後、一部鳥害もあったが成長が悪く欠株箇所に船戸圃場の間引いた株を移植した。しかし、成長が悪く小さい花は咲いたが、それ以上の生育が無かった。

### 2) 菜の花栽培（10月～3月）

- ・東側圃場は、生育も良く花が良く咲き、良好でした。
- ・西側圃場は、ヒマワリと同じく高畝にして播種しました。昨年よりも成長が良く花も良く咲きましたが、東側圃場の背丈までは伸びなかったです。

## 3. 浅野圃場

最も広い面積を有していた第1圃場は今年度から地権者が変わったため、第2から第6圃場で作業することになりました。

### 1) ひまわり栽培（4月～8月）

第2と第5圃場でひまわりを栽培しました。播種した当初、圃場は乾いていましたが、田んぼの水入れ時は特に第5圃場の水はけが悪く、発芽後の育ちが遅いため、比較的育った第2圃場の株を第5圃場に移植をしました。

7月の梅雨明けごろから、昨年につきグンバイ虫が発生したため、花が大きく育たず、ひまわり油が搾れるほどの花は咲きませんでした。

### 2) 菜の花栽培（9月～3月）

第3と第5圃場で菜の花栽培をしました。田んぼの水入れが無くなったためか、第5圃場の水はけが良くなり、思いのほか生長が良く、第3、第5圃場ともに一面黄色い絨毯になりました。

### 3) 小麦栽培（11月～6月）

小麦部会が消滅し、遊農チームに吸収合併されたため、浅野圃場担当が中心に作業を進めることになりました。作付け圃場は第2と第3圃場を、そば栽培と毎年交互に入れ替えて作付けします。

今年度の小麦栽培は第2圃場に「ゆめかおり」（強力粉）を播種しました。年末から2月にかけて3回の麦踏みと、1回の追肥を行い、現在順調に育っていますが、一部白鳥に食害されたため、生長が遅れているところがあります。

#### 4) そば栽培（8月～10月）

- ・浅野第3圃場は、面積が1,500㎡で景観作物として蕎麦の栽培を行った。
- ・当圃場は、発酵鶏糞と馬糞堆肥により肥料散布を行い、雨天の状況を見て8月末に蕎麦の播種を行った。播種から2週間位後に倒伏防止のため、管理機による土寄せを行った。
- ・10月末に刈り取りを行う予定でしたが、子実の熟成が少し足りないと思われたので1週間後に刈り取りを行った。天日干しは天候が悪く10日間程を要した。
- ・玄そばの収量は152kgで昨年と同程度でした。

### 4. 宮前沼/宮前田圃

1)宮前田んぼの8,000㎡と沼側の2,000㎡の計10,000㎡(10反)を使って今年も除草剤のみを使用した減農薬で「粒すけ」を栽培し合計117袋=3,510kgを収穫しました。

2)遊農チーム(GMT65)の皆さんには6月、7月そして8月の暑い時期に除草作業を実施頂きましたが、この収量は前年(172袋)比68%の大幅減収でした。地主の日暮家に20袋、農教室に2袋、そして95袋を分配し、残念ながら会員への販売用は確保できませんでした。

3)収量減の大きな要因としては下記と考えています。

- ①育苗時に高温が続き苗の育ちが悪かった。
- ②白鳥2羽が田んぼに頻繁に来て新芽を食い荒らされた。
- ③除草剤は前年と同じ物量を散布したが効き目が悪く雑草に負けた。
- ④7月の大雨で稲が水没しダメージを受けた。、、、等々

### 5. 遊農チーム (GMT65)

- ・農機を扱うことのできる人員が増えました。
- ・登録人数は60人超で、たくさんの方が作業に参加してくれました。トラスト会員以外の人も参加してくれています。
- ・米もヒマワリ油もいつものように現物支給できました。

### ◆子ども部門

#### \*子どもグループ

- ・根戸城址の枯竹の整理、落下した枯れ木を拾い集積し、無煙炭化器で燃やして炭を作りました。
- ・こども畑、こども田んぼで、米、ジャガイモ、スイカ、トウモロコシ、サツマイモ、ニンジン、ひょうたん、藍、しいたけを育てました。
- ・作物担当を実施し、活動がスムーズにできました。
- ・イベントは、田植え、かかし作り、稲刈りについて企画・運営を行いました。
- ・修了式では、トラスト生き物マップの発表をしました。

#### \*新規就農者支援グループ

- ・新規就農希望者があられませんでした。

## ◆事務局部門

### \*交流事業グループ

当グループは会員相互、並びに一般市民との交流を図る目的で各種イベントを開催するとともに情報交換・情報の共有化を図る活動を展開しました。今年度は新型コロナウイルスの影響は和らいだものの、コロナ前の活動に比べると効率化された中で様々なイベントを実施しました。

- ・5月の田植えには一般の会員(71名)や子供部会の家族(35名)、外部参加者(25名)など、大勢の参加者が集まり、総勢131名の賑わいを見せました。
  - ・7月～8月にかけては「かかし祭り」が行われました。かかし作りには、子供部会、農教室各グループのほか3組9名の外部参加者がありました。かかし祭りには124名の参加者があり、今年も色とりどりの個性的なかかしが田んぼに整列しました。
  - ・9月の稲刈りでは、子どもから大人まで総勢181名(大人部会67名 子供部会69名 外部参加者45名)の参加者が集まり、重労働にもかかわらず、素晴らしいチームワークで作業をこなしていました。
- 11月のそば祭りは、今年も午前・午後の2部制で行い、子供部会(51名)を午前、大人部会(92名)を午後に分け実施しました。ソバの試食会場を根戸城址としたため、日暮会場も時間通りにそば打ちを進めることができました。参加者は142名でした。
- ・12月の餅つき大会も、2部制にして1部を子供部会(54名)、2部を大人部会(92名)に分けました。子供部会は昨年に続き、根戸城址にて試食をしました。合計で146名の参加者となりました。
  - ・2月にはトラストサロンとして、当会子供部会の会員である菱山宏輔さん(専修大学教授)に、「手賀沼トラストのコモンズと癒しの風景」と題する講演をしてもらいました。サロンの後半ではヨガと瞑想教室も行われ、30名の参加者が、楽しみながら参加をしていました。

### \*事務局グループ

- ・会議運営・記録、会報発行、HPの運営、名簿管理、会計業務(年度予算、月次決算、現金出納業務等)、機械管理等の基礎業務をこなしました。
- ・HP担当者の努力下、HP、メーリングリストが有効に機能しました。
- ・FBも担当者が農教室の記録を配信してくれました。
- ・会計担当者、会計実務者の力で会計実務がスムーズかつ適切に行われました。
- ・12月には企業ボランティア(ライフルホームズ)の受入れを行いました。
- ・市農政課との緊密な連絡、交流をおこないました。

## ◆総括報告

- ・年度末(2023年3月末)の正会員数は210名(前年度207名)、賛助会員4名、顧問1名、協力会員(地権者)14名、協力会員(我孫子市民)72名、あわせて301名(前年度293名)の会員となりました。メルマガ会員は200名(前年度200名)で変動はありません。

## 2. 事業の実施に関する事項

### 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
里山保全部門	管理場所グループ	根戸城址部会（定例活動） ・根戸城址通り清掃 ・樹林地管理など	毎月第1、3日曜日	根戸城址通り 根戸城址	4名	会員（30名）
		花ハス部会	定例活動日、随時	ハス田	2名	会員（20名）
		ミカン山部会	定例活動日、随時	ミカン山	2名	会員（20名）
	個別活動グループ	冬水田圃部会	4月～10月	根戸新田	14名	会員・一般（100名）
		ソバ栽培部会	8月～11月	根戸新田	14名	会員（60名）
		養蜂部会	毎月第3土曜日、随時	根戸新田	2名	会員（37名）
		里山農教室部会	毎月3回程度 土曜日	根戸新田	19名	会員（149名）
		特別コース部会	通年	根戸新田	2名	会員（13名）
		ソバ勉強会部会	9月～11月	けやき調理室	2名	会員（27名）
		ハーブ部会	通年	根戸新田	2名	会員（21名）
	小麦部会	通年	根戸新田	3名	会員（21名）	
	健康長寿部会	通年	根戸新田	2名	会員（11名）	
	遊休農地活用部門	遊休農地対応グループ	ひまわり栽培	4月～7月	船戸圃場 花和下圃場 浅野圃場	3名
菜の花栽培			10月～3月	船戸圃場 花和下圃場 浅野圃場	3名	会員（60名） 一般（636名）
水稻栽培			3月～9月	宮前田圃 宮前沼田圃	2名	会員（60名）
新規就農者支援グループ		新規就農者支援	4月～3月	根戸新田	2名	会員・一般（0名）
子ども部門	子どもグループ	子ども部会	毎月3回程度 土曜日	根戸新田	2名	会員（29名）
事務局部門	交流グループ	田植え	5月14日	根戸新田	14名	会員（106名）・一般（25名）
		かかし作り	7月8日、22日	日暮会場	10名	会員（136名）・一般（9名）
		かかし祭り（コンテスト）	8月19日	根戸新田	15名	会員（122名）・一般（2名）
		稲刈り	9月10日	根戸新田	30名	会員（136名）・一般（45名）
		トラストサロン	2月10日	けやきプラザ	5名	会員（30名）
	事務局グループ	安全管理委員会	4月30日	けやきプラザ	2名	理事（10名）
		定例理事会（10回開催）	毎月、最終日曜日	けやきプラザ	2名	理事（10名）
		通常総会	6月10日	けやきプラザ	10名	会員（174名）
		会報編集・校正・発送	毎月1日発行	会員自宅ほか	3名	会員・一般（200名）
		ホームページ運用・管理	通年	会員自宅ほか	3名	会員・不特定多数
		フェイスブック運用・管理	通年	会員自宅ほか	2名	会員・不特定多数